

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和3年8月2日

事業所名：after school willbe

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	教室の広さが十分にあり、備品も稼働可能なものを使用している為、できている	はい100%	十分な確保ができている為、現状を維持していく
	2 職員の適切な配置	基準を満たしている為、問題なく稼働	はい50% 分からない50%	児童の人数も増えてきている為、更なる人員配置を心がけていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バーテーションや物品なども子どもの安全面を考慮かせるものを使用	はい100%	十分な確保ができている為、現状を維持していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	職員出勤時に掃除・消毒を毎日行っている	はい100%	十分に配慮ができている為、現状を維持していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	打合せなど行い、定期的に改善している		今後も常にカンファレンスを取り入れ周知していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナ感染拡大の為、年明けに予定		緊急事態宣言も開けたため、今後、定期的に取り入れていく予定
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月一回研修を行っている		月一回研修を行っている為、現状を維持する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者様と面談を行い、個別に話す機会を設けている	はい83.3% わからない16.7%	現状を維持しつつ今以上のサービス計画を立てるように心がけていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもひとりひとりに合った支援内容を考えるように心がけている	はい100%	現状を維持しつつ今以上のサービス計画を立てるように心がけていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもひとりひとりに合った支援内容を考えるように心がけている	はい66.7% いいえ33.3%	現時点での保護者様からの回答を踏まえ十分に満足していただけるよう、具体的な支援方法を記載していく
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	定期的に計画書を確認しスタッフ間でも周知している	はい66.7% いいえ33.3%	支援の実地状況(お子様の様子など)更に細かく保護者の方に伝えていく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で案を出しあい、児童が楽しめるプログラムを考案		視野を広げ、今後も様々なプログラムを取り入れていく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	送迎時間・場所などできるだけ保護者様の希望に添えるよう調整している		現状を維持し、希望に添えるように調整していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必ず、同じ内容にならないように教科ごとに分け学期別に予定表を作成。	はい100%	児童の希望も聞き、楽しく安全に活動に参加して貰える体制を作る
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前に打ち合わせを行い役割分担をしている		事前準備を行い、今後も時間に余裕をもって活動の準備に努める
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	スタッフ同士での感想・意見交換		カンファレンスの回数を増やしていく
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、都度行っているが、記録の仕方など更に周知していく必要がある		複数名の職員で再確認を行っていく
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回必ずモニタリングを行い計画の見直しをしている		半年では児童の成長やなど環境に変化もあると思われるため、その児童に合った見直しを行う
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	コロナ感染拡大の為、電話での報告になっていた		今後は感染状況に合わせて積極的に参加していく予定
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童の様子やその児童の特性を送迎の際などに確認		今後も定期的に情報共有を行っていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
との連携	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	通信制の学校案内、就労支援施設への紹介ができる環境が十分にある		弊社の訪問介護事業の活用も視野に今後も十分な情報提供を行っていく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ感染の為、研修への参加が必要最低限になっていた		今後は、感染対策に配慮してできる限り積極的に研修への参加を行っていく
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ感染もあり、できるだけ接触がないようにと交流を避けていた	わからない83.3% 未回答16.7%	今後は感染対策に十分配慮し積極的に機会を作っていきたい
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ感染もあり、できるだけ接触がないようにと交流を避けていた		今後もパンフレットやチラシを確認し感染対策に十分配慮しながら積極的に参加していきたい
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に必ず説明を行い、請求書・領収書など細かく保護者の方に伝えている	はい100%	今後も特に金銭が関係してくる場合は丁寧かつ慎重に説明していく必要があると思われる
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	連絡帳(リム)への細かい記載をしている。言葉や表現方法の改善を職員でしていく必要がある	はい100%	現状を維持し児童の様子など細かく伝える。職員への言葉や伝え方の再確認を行う
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	相談支援を行いお子様の特性など相互理解を図った	はい66.7% いいえ33.3%	資料など共有し、支援の実施を行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者の方の意見、家庭での様子、また教室での様子の情報共有をしている	はい100%	今後も活動様子など保護者様に伝え情報共有を十分に行っていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	現状、必要最低限での面談しかできていなかった	はい100%	今後は感染対策に十分配慮し面談などを取り入れ保護者様が話しやすい環境を作っていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染もあり、できるだけ接触がないようにと交流を避けていた	はい50% わからない33.3% いいえ16.7%	緊急事態宣言も開けたため、今後、感染対策に十分配慮し定期的に取り入れていく予定
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	一件あり。勘違いもあった為、保護者様との信頼関係を更に築いていく必要がある	はい83.3% わからない16.7%	ご意見があればなぜそうなったかの原因の追究を行い改善を図っていく。また、定期的に研修を行い対応方法の周知を行う
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日頃から保護者様とのコミュニケーションを心がけ話しやすい環境づくりをしている	はい100%	今後も保護者様との信頼関係を更に築いていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	予定表や児童が来る日など分かりやすく個別で配布	はい83.3% わからない16.7%	今後はイベントなども取り入れ楽しい行事を更に提供していく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約の際に必ず説明を行い、事業所内での保管にも施錠を行い気を付けている	はい100%	今後も現状を維持していく
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時や面談時説明が足りず、どの部分に該当するかなど、得られていないことがアンケートを行い分かった	はい66.7% いいえ33.3%	保護者様への再説明、お便りなど積極的に発信していく必要がある
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練・防災学習などプログラムを通している	はい83.3% わからない16.7%	実地状況を保護者の方にお知らせとして配布していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全職員に必ず研修を行っている		今後も年に一回を含め、新しい職員の都度個別研修など定期的に研修を行っていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状ないが、もしも場合のことを説明し、保護者様に説明・確認している		現状ないが、今後やむを得ない場合もあり得る為、再確認を行っていく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現時点では該当する児童が通所しておらずそのような事例がない		今後、対応できるように、月一回職員研修で取り上げ、アレルギーについても理解を深めていくよう努める
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日、日報に記載。業務日報にて必ず確認している		今後も現状維持し出勤時、日報すべてに目を通すよう職員に周知していく